

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公開番号】特開2008-171343(P2008-171343A)

【公開日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-6151(P2007-6151)

【国際特許分類】

G 0 6 F 15/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 15/00 3 9 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月4日(2010.1.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のセンサ端末と、前記複数のセンサ端末に接続される管理装置とからなる集団解析システムであって、

前記センサ端末の各々は、相対的な位置検出を行う第一のセンサと、周囲の環境情報を取得する第二のセンサとを有し、

前記管理装置は、

前記センサ端末の各々から、前記第一のセンサと前記第二のセンサからのセンサ信号を取得する入出力部と、

前記第一のセンサのセンサ信号を用いて前記センサ端末の初期グループを設定し、

前記初期グループを形成する前記センサ端末の各々から受信した、前記第二のセンサのセンサ信号から前記初期グループの特徴量を抽出し、

前記初期グループの前記特徴量と、前記初期グループに属さない前記センサ端末の前記第二のセンサのセンサ信号から抽出された、前記初期グループの前記特徴量に対応する特徴量とを比較することにより、前記初期グループに属さない前記センサ端末が属するグループを決定する解析部とを有する

集団解析システム。

【請求項 2】

請求項 1 記載の集団解析システムであって、

前記第一のセンサは指向性が高いセンサである

集団解析システム。

【請求項 3】

請求項 2 記載の集団解析システムであって、

前記第一のセンサは赤外線センサであり、

前記管理装置は、前記初期グループの決定に際し、前記赤外線センサのセンサ信号を用いて前記センサ端末間の対面検知を行う

集団解析システム。

【請求項 4】

請求項 1 記載の集団解析システムであって、

前記第二のセンサは音を検出するセンサである

集団解析システム。

【請求項 5】

請求項 4 記載の集団解析システムであって、  
前記初期グループの前記特徴量は、前記初期グループを形成する前記センサ端末の各々から受信した前記音を検出するセンサのセンサ信号の平均である  
集団解析システム。

【請求項 6】

複数のセンサ端末の集団解析を行う集団解析装置であって、  
前記センサ端末の各々から、相対的な位置検出を行う第一のセンサのセンサ信号と、周囲の環境情報を取得する第二のセンサのセンサ信号を取得する入出力部と、  
前記第一のセンサのセンサ信号に基づき前記センサ端末の初期グループを設定し、  
前記初期グループを形成する前記センサ端末の各々から受信した、前記第二のセンサのセンサ信号から前記初期グループの特徴量を抽出し、  
前記初期グループに属さない前記センサ端末の前記第二のセンサのセンサ信号から、前記初期グループの前記特徴量に対応する特徴量を抽出し、  
前記初期グループの前記特徴量と前記初期グループの前記特徴量に対応する前記特徴量とを比較することにより、前記初期グループに属さない前記センサ端末が属するグループを決定する解析部と  
を有する集団解析装置。

【請求項 7】

請求項 6 記載の集団解析装置であって、  
前記第一のセンサは赤外線センサであり、  
前記解析部は前記初期グループの決定に際し、前記赤外線センサのセンサ信号を用いて前記センサ端末間の対面検出を行う  
集団解析装置。

【請求項 8】

請求項 6 記載の集団解析装置であって、  
前記第二のセンサは音を検出するセンサである  
集団解析装置。

【請求項 9】

請求項 8 記載の集団解析装置であって、  
前記初期グループの前記特徴量は、前記初期グループを形成する前記センサ端末の各々から受信した前記音を検出するセンサのセンサ信号の時系列毎の平均である  
集団解析装置。

【請求項 10】

請求項 6 記載の集団解析装置であって、  
前記入出力部より入力される前記周囲の環境情報を取得する第二のセンサのセンサ信号は、前記センサ端末から送信される前記センサ信号の送信周期より短い期間サンプリングされた信号である  
集団解析装置。

【請求項 11】

請求項 10 記載の集団解析装置であって、  
前記解析部は、前記初期グループの前記特徴量を抽出する際、サンプリングされた前記センサ信号が時間軸上で重なる部分の平均を求める  
集団解析装置。

【請求項 12】

複数のセンサ端末と、前記複数のセンサ端末に接続される管理装置とからなる集団解析システムであって、  
前記センサ端末はそれぞれ、前記センサ端末を保有する人物間の相対的な位置情報を取得する第一のセンサと、前記センサ端末を保有する人物の環境情報を取得する第二のセンサ

とを有し、  
前記管理装置は、  
前記センサ端末それぞれから送信される、前記相対的な位置情報と前記環境情報を取得する入出力部と、  
前記相対的な位置情報を用いて前記複数のセンサ端末で形成される初期グループを検出し、前記初期グループを形成する前記センサ端末の前記環境情報から、場の環境を示す前記初期グループの特徴量を抽出し、  
前記初期グループに属さない前記センサ端末の前記環境情報から、場の環境を示す特徴量を抽出し、  
前記初期グループの特徴量と前記初期グループに属さないセンサ端末の特徴量を比較して前記初期グループに属さない前記センサ端末が属するグループを決定する解析部とを有する集団解析システム。

【請求項 13】

請求項 12 記載の集団解析システムであって、  
前記第一のセンサは赤外線センサであり、  
前記解析部は、前記初期グループの決定に際し、前記赤外線センサのセンサ信号を用いて前記センサ端末間の対面検知を行う集団解析システム。

【請求項 14】

請求項 12 記載の集団解析システムであって、  
前記第二のセンサは音を検出するセンサであり、  
前記解析部は、前記初期グループの特徴量として、前記初期グループを形成するセンサ端末により検出された前記音の値を示すセンサ信号の平均値を算出する集団解析システム。

【請求項 15】

請求項 12 記載の集団解析システムであって、  
前記管理装置に接続される表示部に、時系列上に、前記センサ端末を保有する人物が他の人物と同じグループに属しているか否かを表示する集団解析システム。

【請求項 16】

請求項 12 記載の集団解析システムであって、  
前記管理装置に接続される表示部に、前記複数のセンサ端末で形成される複数のグループを識別して表示する集団解析システム。